

II 審議の対象となった番組

委員会の審議の対象となったのは、先にも述べたBS11『“自”論対論 参議院発』という政治討論番組である（以下「本件番組」という）。本件番組は、毎週水曜日の午後8時30分から9時という時間帯で、2011年1月12日から3月30日まで、ワンクール（3か月間）放送された。前年の参議院議員選挙で野党が勝って再び「ねじれ国会」となったので、野党第一党である自民党の参議院議員を主役にした番組もおもしろいのではないかと企画されたという。

番組の構成は、自民党の山本一太議員（政調会長代理・参議院政審会長）と丸川珠代議員（参議院政審会長代理）の2人が司会進行を務め、毎回、自民党の参議院議員をゲストに招いてトークを繰り広げるというもので、自民党の政策を与党に対する対論として紹介する内容だった。

第1回は自民党の幹事長（この回のみ衆議院議員）が出演し、2人の司会者との間で与党の政策に対する批判と自民党の政策を語った。

第2回から第7回までは、前年の参議院議員選挙で当選した新人議員のうち16人が、3つのグループに分かれて2回連続で出演し、抱負、政治信条や関心のある政策課題を討論した。

第8回と第9回は、司会者の議員も含め、参議院の自民党4役である会長、幹事長、国対委員長、政審会長が顔をそろえて、自民党の政策について討論を行った。

第10回と第11回は、自民党のベテラン議員2人をゲストに、災害に向き合う政治家の使命が討論された。ゲストとして出演したこれらの自民党議員は、11回の放送で合計24人、のべ43人だった。

なお、本件番組は、当初の企画では12回の放送予定であったが、東日本大震災による番組編成の変更にもなまって1回中止となり、3月末に終了した。